

第3次渋川市総合計画策定に係る市民説明会における意見交換概要

1 日時 令和8年7月24日（金） 午後7時～午後8時30分

2 会場 子持公民館

3 意見交換内容（参加者23人）

| No. | 意見                                                                                                | 回答                                                                                                                                                                                                       |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 所有する農地をいかせずに困っている<br>ので、農地が活用できるような取組を進<br>めてほしい。また、耕作放棄地は火災や<br>野生動物を誘因することが懸念されるた<br>め、改善してほしい。 | 土地の管理自体は、農地に限らず所有者<br>に責任をもって対応してもらうことが原<br>則となりますが、市としても耕作放棄地<br>が増加しないよう農地の利用促進に努め<br>ます。また、将来の農地利用を示した計<br>画（地域計画）を策定しており、協議の<br>場を開催し、農地所有者や農業者などの<br>意見を踏まえながら、随時見直しを行<br>い、ニーズに合わせた取組を進めていき<br>ます。 |
| 2   | 若い世代のまちづくりへの参画が促され<br>るよう、そうした世代の意見を聞けるよ<br>うな体制を検討してほしい。                                         | 若い世代の意見が募れるように中高生を<br>対象としたアンケート調査や気軽に意見<br>をもらうためのパネル展示などの機会を<br>設け、そうした機会に参加してもらえる<br>ように積極的に働きかけていきます。                                                                                                |
| 3   | 若い世代の消防団への加入が減少してい<br>ることに危機感を感じる。消防本部と連<br>携し、今後の消防団の姿を示してほし<br>い。                               | 消防団員の定数は削減していますが、災<br>害時の対応など消防団の役割は大きいた<br>め、いただいた意見を消防本部や関係機<br>関と共有し、安全・安心なまちづくりを<br>進めていきます。                                                                                                         |
| 4   | 世代を問わず、単身世帯が増えているよ<br>うに感じる。若い世代が出会える場をつ<br>くってほしい。                                               | 婚活を行う団体への補助などを通じてそ<br>うした取組を支援していきます。                                                                                                                                                                    |
| 5   | 現行計画の進捗状況などを踏まえて新し<br>い計画をつくってほしい。                                                                | 令和8年度中に現行計画の中間検証を行<br>い、その検証結果を踏まえながら新しい<br>総合計画の策定を進めます。                                                                                                                                                |
| 6   | 市内に産科がなくなってしまうことを懸<br>念している。安心して妊娠・出産できる<br>まちづくりを進めてほしい。                                         | 県や圏域市町村、近隣の医療機関などと<br>連携した取組を進めます。                                                                                                                                                                       |
| 7   | NP0法人が一般企業と同じような就職先の<br>候補になれば、人口減少対策につなが<br>ると思う。そのためには、市がNP0法人に支<br>払う対価を増やしてはどうか。              | 市がNP0法人に委託している事業につい<br>ては適正な対価をお支払いしていると考え<br>ています。                                                                                                                                                      |

| No. | 意見                                                         | 回答                                                                     |
|-----|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 8   | クマ等の野生動物対策に当たる人材確保などを行い、安全・安心なまちづくりを進めてほしい。                | 警察や猟友会と連携して有害鳥獣対策などに取り組みます。また、猟友会に対して資格取得の補助などを行い、活動を支援していきます。         |
| 9   | 市役所の女性管理職を増やし、市が率先して女性が活躍できる環境づくりを進めてほしい。                  | 市役所内の女性管理職の割合は、まだ少ない状況ですので、今後も女性職員の活躍を後押ししていきます。                       |
| 10  | 市税以外に企業誘致などを通じた収入確保に努めてほしい。                                | 企業を誘致するためのインフラ整備など課題は多いですが、今年度から企業誘致を専門とした部署を立ち上げましたので、引き続き力を入れていきます。  |
| 11  | 人の流れを人口密度が低いところから高いところへ誘導し、まとまりのあるまちづくりを進めてはどうか。           | 立地適性化計画において渋川駅や八木原駅周辺などを居住誘導区域を設定していますので、今後もゆるやかにまとまりのあるまちづくりを進めていきます。 |
| 12  | 時代の流れにあったまちづくりを進めるためには行政と自治会と一緒に考えることが必要なため、そうした環境を整えてほしい。 | 自治会や市民と協働したまちづくりについては、現行計画にも含まれており、重要な取組ですので、新しい総合計画でも位置付けを検討します。      |

<備考>

本資料は、説明会において参加者からいただいたご意見の概要をまとめたものです。説明会の結果は別途、報告書にまとめ公表します。